

**令和6年度 第1回 福知山鉄道館企画会議
議事概要**

1 日 時 令和6年4月17日（水）午後6時00分～午後7時30分

2 場 所 市民交流プラザふくちやま 3階 視聴覚室

3 参加者

委 員	柳井津 佑健 (福知山商工会議所)
	達川 寿志 (ゆらのガーデン出店者協議会) ※代理出席：小笠原 光梨
	福井 佳代 (福知山観光協会)
	赤井 貴恵 (子育て支援NPO法人おひさまと風の子サロン)
	林 あゆみ (石原ママサークル いいともさ)
	松山 美昭 (西日本鉄道OB会／福知山SL保存会)
	前田 智久 (福知山市小学校教育研究会 社会科部長)
	西山 周三 (福知山市産業支援センター ドッコイセ! biz)
	宮田 毅 (公募委員)
	友塚 絢人 (公募委員)
事務局 (福知山市)	西畑 信寿 (産業政策部部長)
	森田 成章 (産業政策部産業観光課商業担当課長)
	河野 恒州望 (" 商業振興係長)
	鈴木 武志 (")
	高石 麻衣 (")
	岡坂 昂洋 (")

4 会議概要

次 第	内 容
1 事務局挨拶	西畑部長
2 委員長互選	柳井津委員長、赤井副委員長
3 令和5年度実績 及び現状報告	<p>(資料に基づき説明)</p> <p>(主な意見)</p> <p>■シミュレーターは、来場した子供(小中学生)は9割近くが利用していると読み取れるが、その認識で合っているか。 ⇒利用者としては未就学児が多い。シミュレーターは操作が複雑なことから小学生以上の利用が多いと予想していたが、意外な結果になった。</p> <p>■平日と休日の来館者数の差を無くしたい。春休みや夏休みの期間も平日は来場数が少ないことから子供だけで来場するケースはあまりないのか。 ⇒子供は大人と来館するケースが大半を占めている。春休みは若干ではある</p>

が来館者は増加傾向にあったと感じている。ただ、3月は天気が悪い日が多く、そういった日には如実に来館者数が減少していた。その一方で、福知山城は天候に左右されず安定して集客ができているため、福知山城からの集客導線をどうすべきか今後検討する必要がある。

■オリジナルのガチャを設置することは難しいか。

⇒業者にも相談を行い、設置する方向で検討している。ただ、設置スペースの不足などの課題もある。

■子供のサポーター数が多いことに驚いた。今後、集客について検討する際、何かヒントになるかもしれないと感じた。

■鉄道館を小学生の社会見学の場所として積極的に利用していきたいが、昨年度については、バスの手配の関係から難しかった。今年度はもう少し早い段階で年間教育の計画に組み込んでいきたい。

■福知山市に鉄道が開通した歴史的背景を説明できるガイドのような人が欲しい。小学生への教育において、鉄道館は良い勉強教材になると考えている。実際に授業で、福知山市が鉄道を軸に発展してきたという話は、児童達の興味・関心も高いと感じている。

■今後、社会科の教員が集まる会議などで鉄道館を積極的にPRしていく予定。

■平日の集客がやはり課題だが、シニア世代は平日でも活動される方は多いため、伸びしろはあると感じている。

■前回、本の読み聞かせを提案し、すぐに導入されていることは大変仕事が早いと感じた。こういったイベントを定例化することは有効な集客方法になると思う。

■福知山城で、お城関連のお土産を鉄道館で販売していることを宣伝できればお城から鉄道館への集客に効果的だと思う。

■お土産だけ買う場合は入館料を払わなくても入館できるが、入館者数にはカウントされるのか知りたい。

⇒この場合、入館者数にはカウントされないが、お土産が購入されると収益が上がるので、お土産の購入だけでもどんどん来館して欲しいと考えている。

■福知山城と比べて入館料が高いという声が上がっている。（福知山城 330 円、フクレル 500 円）インバウンド需要が回復傾向にあることから、大阪城も大幅な値上げを実施するそうなので、この機会に福知山城も値上げを検討してみたい。

■共通券があまりお得感がないので改善の余地があると思う。また、3館（福知山城・鉄道館・美術館）の中で、美術館は歴史の分野（福知山城・鉄道館）との関連性が薄いため、2館の共通券をつくったらどうか。また、観光客は来訪時間が限られているため、時間がなく、美術館まで回り切れないケースもあると思う。

	<p>■確定ではないが、ガイドの会が実施している街中を紹介するガイドで鉄道館も案内先に加える予定である。今後、研修などを積極的に実施し、鉄道館まで案内できる人材の育成に力を入れたいと考えている。</p> <p>■ポッポランドが閉館したにも関わらず、同館の貼り紙が「休館中」になっている。道路標識についても「ポッポランド」の表示のままである。 ⇒対応する。</p> <p>■地元重視の運営方針も理解できるが、安定した収益があつてこそその運営だと思う。入館者の中で、市外の方の割合を知りたい。 ⇒昨年9月頃のデータになるが、8割近くだったと思う。ただ、開館直後のデータであり、マスコミ等で積極的に宣伝をして頂いていた時期なので、数値の変化はあると思う。</p> <p>■昨年10月14日に最多来館者数を記録しているが、この時点で、施設の広さや人員的に、余力があつた状態なのかキャパ的に限界に近かつたのか知りたい。 ⇒限界に近い状況だと感じた。運転シミュレーターは常に待機客がおり、スタッフのキャパ的にもギリギリの状態という印象だった。</p> <p>■お客様の中には、人混みが少ない日を好まれる方も多と思うので、平日なども集客を伸ばせる可能性はあると思う。</p>
<p>4 今年度の運営スケジュールについて</p>	<p>(資料に基づき説明) (主な意見)</p> <p>■夏休みの7月～9月の時期に、イベントが少ないと感じた。他にも独自のイベントがあつたほうが良いのではないかと。 ⇒鉄道館1周年と福知山駅120周年が8月下旬のため、イベントはその時期からの開始を検討している。</p> <p>■共通券の魅力が少ないと思うので、ゆらのガーデンとのコラボ企画を検討してはどうか。例えば、来場者はゆらのガーデンでの食事料が100円引きになる等。</p> <p>■応援サポーター優待特典の利用は、ゆらのガーデン内の協力店舗では実績が少なく、相乗効果はあまり高くなかつたと感じている。</p> <p>■イベントの開催日をもっと小分けに行ってみてはどうか。鉄道の日なども注目度が高い日にも関わらず、年に一度しか開催されないのはもったいないと思う。</p> <p>■福知山駅前のSLは希少性があり、文化的価値も高いため鉄道館とコラボした取り組みも有効だと思う。</p> <p>■Nゲージの操作体験を有料で実施するのか知りたい。 ⇒無料で実施する予定。理由としては行政の仕組み上、有料にするのは困難なため。あくまで入館者増を目的としたイベントにしたいと考えている。</p> <p>■機関助手体験の液晶画面が壊れているのが気になった。</p>

	<p>⇒子供が石炭を画面にぶつけてしまった。現在修理の話を進めており、モニター前にパネルをつけておく必要もあると感じている。</p> <p>■福知山公立大学の鉄道サークルのメンバーが増えてきている。Nゲージの準備などで手伝えることがあれば協力したい。</p>
5 事務連絡	<p>次回の会議の開催日は、120周年イベントの内容がメインになると思うので、その進捗次第で改めて連絡します。</p>